

# 新しい三小教育を目指して

河内長野市立三日市小学校

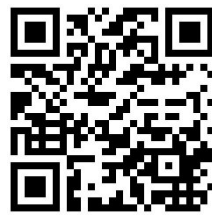
校長 小滝 孝文

## ～全国学力・学習状況調査・すくすくウォッチの結果を受けて～

4月18日(火)に全国の小学6年生・中学3年生を対象に「令和6年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。また、大阪府の小学校5年生・6年生を対象とした「小学生すくすくウォッチ」も4月21日(金)に実施されました。

これらの結果を全教職員で分析・考察をし、本校の児童の傾向・実態把握をいたしました。そして、それらをもとに今後の三日市小学校の新しい教育に全教職員一丸となってつなげていきたいと考えております。

各問題に対する分析については下記QRコードをお読みいただき、ご確認ください。



調査結果を受けて、(1)学校が重点的に取り組んでいくこと、(2)児童のみなさんに取り組んでほしいこと、(3)保護者のみなさまに協力していただきたいことを記載しておりますので、ご一読よろしくお願いたします。

## (1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

- ・【褒める】・【認める】・【高め合う】学級を目指し、児童の自己肯定感を高めます。また、自分の行動が人の役に立つことの経験を積み上げ、自己有用感も高めます。この2つの向上が学習意欲を高めると考えます。
- ・無解答率が全国平均を上回っていました。自分の解答に自信を持ってないことと考えられます。難関な問題であっても、基礎学力の定着が肝要です。そのために、1年生からの積み重ねを大切にします。各教科1年生から6年生までの系統性を見出し、6年間一貫性のある教育を目指します。
- ・経験・体験のみならず、言語化することで、知識や知恵になりやすいと考えます。言語化させる場面を多く設定し、交流させることで学びを深めます。
- ・昨年度に比べ、記述式問題(書くこと)の成果が見られます。引き続き、条件にそって書く練習や文と向き合う時間を大切にします。
- ・児童一人ひとりの特性や興味関心に応じて、子ども自身が学習を進めていく【個別最適な学び】と、多様な他者との交流を通して、必要な資質・能力を育成【協働的な学び】を軸にして指導します。
- ・ICT機器の活用を各教科や家庭学習に取り入れ、機器に慣れさせる段階から、次世代に

必要な情報スキルや情報モラルの育成を目指します。

## (2) 児童のみなさんに取り組んでほしいこと

- ・ 学習内容を身に付けることと生活習慣はつながっています。引き続き、規則正しい生活をこころがけましょう。合言葉は「早寝・早起き・朝ごはん」です。
- ・ 「書くこと」に慣れるためには、正しい言葉を知ることや文に向き合う時間を多くとることです。そのお勧めの方法は、本を読むことです。朝の読書タイムや図書の時間を大切にしてくださいね。
- ・ わからないこと・不思議なこと・疑問等はそのまめにせず、自分で調べたり、先生やお家の人に聞いたりしてみましょう。粘り強く、あきらめないことが大切です。
- ・ 学級での話し合い活動は、自分の考えを深め、広げることができます。自分の意見を積極的に発言してみましょう。また、友だちの意見をしっかりと目と耳と心で聴くと、自分の考えと比べることができ、新しい発見ができます。
- ・ 「自主学習コンテスト」や「自主学習強化週間」に取り組むと、「家庭で学習をする習慣」が身に付きます。どんなことでもいいです。自分の興味のあることに取り組んでみましょう。

## (3) 保護者のみなさまに協力していただきたいこと

- ・ 上記でも記載しましたが、学習内容を身に付けることと生活習慣はつながっています。お子さまの規則正しい生活は保護者のみなさまのご協力が必須です。引き続き、ご支援ご協力の程よろしくお願いします。
- ・ 宿題や家庭学習で困っているときは、声かけやご支援をよろしくお願いします。
- ・ 学んだことを実生活で生かす、または生かされている場面を見ると学習に深みが出て、忘れにくいです。是非とも、学習内容と実生活を結びつける声かけをお願いします。  
(例)・商品の割引・天気について・都道府県名・草花の名称・交通標識の漢字やローマ字・車や電車の速度・・・
- ・ 学校と家庭と地域の連携はお子さまの成長に欠かせません。何か気になること、困っていること、うれしかったこと等、是非教えていただけるとありがたいです。また、本校ではスクールカウンセラーをはじめ、スクールソーシャルワーカー等の専門的スタッフを配置しております。相談をご希望の場合は、学校までご連絡ください。
- ・ 最後に、全国学力・学習状況調査・すくすくテストで読み取れることはお子さまのほんの一面です。学校では自己肯定感や自己有用感を高める意識のもと、指導しています。ご家庭でも苦手なことのみに目を向けず、できていること、得意なことを伸ばしていくような声かけをお願いいたします。